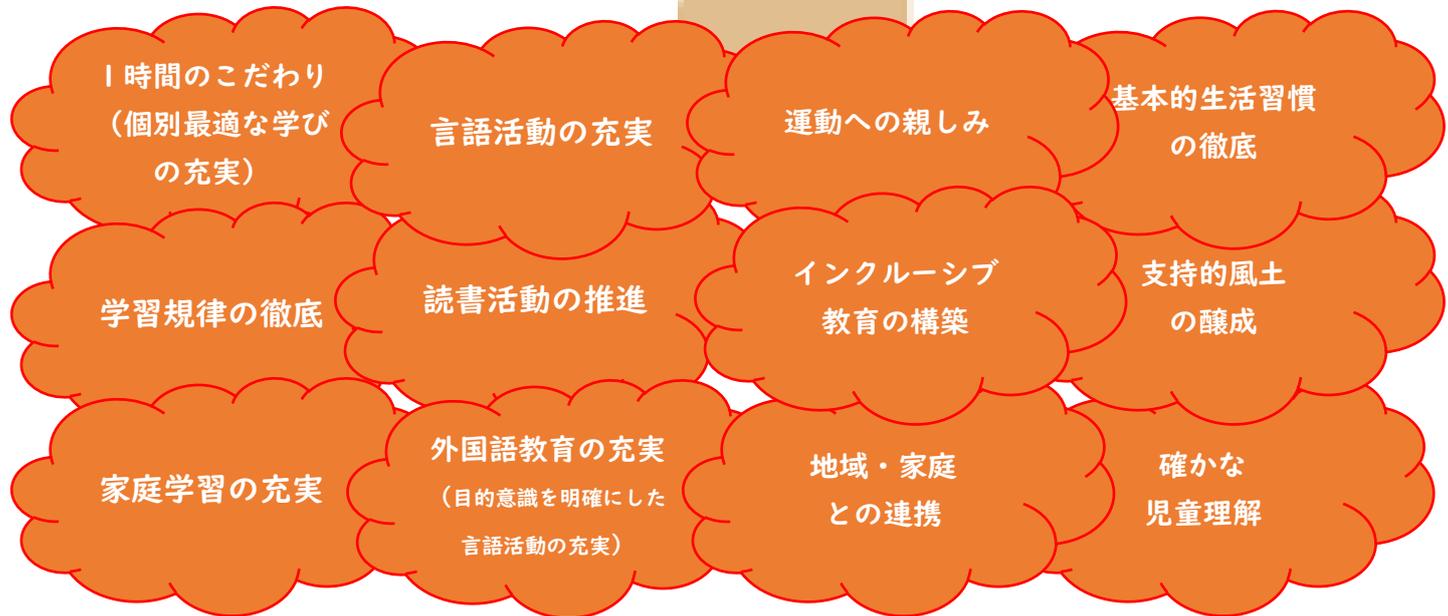


次代を生きぬく子どもの育成



長崎市の学校評価項目

すべての項目における達成率、9割以上を目指します

心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている
		挨拶をよくしている
		「あ・は・は運動」を知っている
		教職員は悩みや相談に親身に対応している
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている
平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている
	学習指導・教育課程	学習への意欲付けができています
		わかりやすい授業を行っている
		家庭学習の習慣が身に付いている
進路指導	将来の進路や職業について適切に指導している	
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている
	体力向上	基本的な生活習慣が身に付いている
		体力向上に努めている
	食育	食に関する教育活動を行っている

第1学年の具体的手だて・手段（学級の実態により必要なビジョンのみ立てる）

目標（ビジョン）	手だて・手段	1学期	2学期	3学期
1時間のこだわり （個別最適な学びの充実）	始まりと終わりの時間を守る。			
	めあてとまとめのある授業を行う。			
学習規律の徹底	姿勢や正しい鉛筆の持ち方の確認をする。			
	話をする人の方へ体を向ける。			
家庭学習の充実	毎日課題に取り組ませる。			
	家庭への啓発を行う。			
言語活動の充実	一言日記に取り組む。			
	ペアでの伝え合い活動を設ける。			
読書活動の推進	すきま読書に日常的に取り組ませる。			
	毎週司書の先生に読み語りをお願いする。			
外国語教育の充実 （目的意識を明確にした 言語活動の充実）	日常的に簡単な外国語を使うようにする。			
	EEタイムの補足を行う。			
運動への親しみ	できるだけ外遊びを促すように促す。			
インクルーシブ教育の構築	それぞれのニーズに応じた教育的配慮をし、すべての児童の自己実現を目指す。			
地域・家庭との連携	学級だよりを定期的に発行し、児童の様子を知らせる。			
基本的生活習慣の徹底	履物そろえの確認を行い、できている時には褒める。			
支持的風土の醸成	人の話を最後まで聞くことを徹底させる。			
	友達の頑張りを認めて、伝え合う。			
確かな児童理解	連絡帳の一言日記を参考に、良いところや頑張ったことを賞賛する。			

第2学年の具体的手だて・手段（学級の実態により必要なビジョンのみ立てる）

（4…かなりできた 3…おおむねできた 2…少しできなかった 1…ほとんどできなかった）

目標（ビジョン）	手だて・手段	1学期	2学期	3学期
1時間のこだわり （個別最適な学びの充実）	めあてとまとめを意識して授業構成をする。			
	思考する場を設ける。			
学習規律の徹底	話を聞くときの姿勢を習慣づける。			
	返事や反応をしっかりとる。			
家庭学習の充実	漢字・音読・算数プリントを毎日する。			
	懇談会で状況を知らせる。			
言語活動の充実	グループの話し合いの場を設ける。			
読書活動の推進	毎週司書教諭に読み語りやブックトークをお願いする。			
外国語教育の充実 （目的意識を明確にした 言語活動の充実）	カード等の準備をしっかりとる。			
	対話をする場を設ける。			
運動への親しみ	週1回全員遊びをする。			
	朝外で遊ぶように促す。			
インクルーシブ教育の構築	特別支援学級の先生と連携をとり、互いに支えあえる授業を構成する。			
	個性を尊重する態度を養う。			
地域・家庭との連携	毎週学級便りで、子供の様子を知らせる。			
基本的生活習慣の徹底	率先して挨拶をして、子どもたちができたときはほめる。			
支持的風土の醸成	友だちを助け合える環境をつくる。			
確かな児童理解	教室で一緒に過ごし、子どもたちの様子を把握する。			
	様子の変化に気づき、話をする。			

第3学年の具体的手だて・手段（学級の実態により必要なビジョンのみ立てる）

（4…かなりできた 3…おおむねできた 2…少しできなかった 1…ほとんどできなかった）

目標（ビジョン）	手だて・手段	1学期	2学期	3学期
1時間のこだわり （個別最適な学びの充実）	1時間に1回、話したり書いたり、解いたりといったアウトプットをさせる。			
	習熟の時間に実態に応じた個別指導を行う。			
学習規律の徹底	話すときは聞き手を、聞くときは話し手を体ごと向く。			
	机上の整頓をさせる。			
家庭学習の充実	児童の実態を正確につかみ、国語科、算数科の課題を出す。			
	音読に力を入れる。			
言語活動の充実	教師自身が手本となるような言葉の使い方をする。			
読書活動の推進	休日に家庭で読書ができるよう、図書室で本を借りさせる。			
外国語教育の充実 （目的意識を明確にした言語活動の充実）	相手意識をもたせて、やり取りをさせる。			
運動への親しみ				
インクルーシブ教育の構築	支援を要する児童への接し方を担任自身が気を付ける。			
地域・家庭との連携	学級通信を定期的に出し、児童の様子を伝える。			
基本的生活習慣の徹底	朝の動きが分かるように掲示する。			
支持的風土の醸成	手が必要な友達に手を差し伸べた児童を称賛する。			
確かな児童理解	問題行動があった場合、まず、理由や事情を話させる。			

第4学年の具体的手だて・手段（学級の実態により必要なビジョンのみ立てる）

（4…かなりできた 3…おおむねできた 2…少しできなかった 1…ほとんどできなかった）

目標（ビジョン）	手だて・手段	1学期	2学期	3学期
1時間のこだわり （個別最適な学びの充実）	めあて、まとめに一貫性を持たせる。			
学習規律の徹底	5分休みに次の学習の準備をする習慣をつけさせる。			
	よい話す姿勢、聞く姿勢、書く姿勢を指導する。 よいモデルを示し姿勢を意識させる。			
家庭学習の充実	音読・漢字・算数の3点を宿題とし、確実な取り組みと提出、やりなおしまでを徹底させる。			
言語活動の充実	日記に取り組ませ、書くことのスキルアップを目指す。			
	話をきちんと聞くことの大切さを説いていく。			
読書活動の推進	すきま読書の推奨。おすすめの本を本棚に置く。			
外国語教育の充実 （目的意識を明確にした言語活動の充実）	朝の会で英語を使い、毎日英語に親しむ。			
	外国語活動での、クラスルームイングリッシュ使用。			
運動への親しみ				
インクルーシブ教育の構築	特別支援学級の先生方と連携をとり、互いに助け合い、児童にとってよりよい環境を作っていく。			
地域・家庭との連携	毎週、学級通信で子どもたちのがんばりを伝える。			
基本的生活習慣の徹底	自分の持ち物に対して意識を向けさせる。			
	あいさつ、返事が気持ちよくできるように根気強く指導していく。			
支持的風土の醸成	発表や発言に対して、反応することが優しさでもあると教え続ける。			
	間違っても大丈夫ということを言い続ける。			
確かな児童理解				
	月一回のアンケートと同時によく話をし、子どもたちの心の変化を把握していく。			

第5学年の具体的手だて・手段（学級の実態により必要なビジョンのみ立てる）

（4…かなりできた 3…おおむねできた 2…少しできなかった 1…ほとんどできなかった）

目標（ビジョン）	手だて・手段	1学期	2学期	3学期
1時間のこだわり （個別最適な学びの充実）	めあてを達成できる授業のしかけを工夫する。			
	言葉にこだわった授業を行う。			
学習規律の徹底	よい話す姿勢、聞く姿勢、書く姿勢を指導する。 よいモデルを示し姿勢を意識させる。			
家庭学習の充実	子どもたちの現状を分析し、必要な宿題を出す。			
	やり直しまで徹底して行わせる。			
言語活動の充実	週末に日記の課題を出す。条件作文の宿題も出し、 自分の考えを言葉で表現できるように意識させる。			
	授業で友達と会話する場面を多く設定し、表現する 機会を設ける。			
読書活動の推進	隙間時間の読書の推奨。本に多く触れさせる。			
	週に1回、図書館の時間を取り、文字を読む機会を多 く設ける。			
外国語教育の充実 （目的意識を明確にした 言語活動の充実）	英語を使用する工夫。（朝の会、授業中）			
	宿題で英語のプリントを課題として出し、基礎的な 学力に結び付ける。			
運動への親しみ	担任と一緒に遊び、運動を促す。			
	運動量を意識した体育の授業を仕組む。			
インクルーシブ教育の構築	特別支援学級の児童もできることは一緒にどん どんやってもらい、繋がりを深めていく。			
	悩んでいる子には、その子に合わせた声掛けを行 う。			
地域・家庭との連携	毎週、学級通信で子どもたちのがんばりを伝え る。			
基本的生活習慣の徹底	あいさつの徹底。いい挨拶とは何かを学級全体で考 える。			
	身の回りの誠意整頓を常に意識させる。			
支持的風土の醸成	仲間を見捨てないことを学級の大切な決まりとす る。			
	学級は大切な仲間であるということを常に意識さ せる。			
確かな児童理解	毎日必ずクラスの全児童と会話し、児童理解に努め る。			
	子どもたちと過ごす時間を多くするために、休み 時間も子どもたちの近くで過ごす。			

第6学年の具体的手だて・手段（学級の実態により必要なビジョンのみ立てる）

（4…かなりできた 3…おおむねできた 2…少しできなかった 1…ほとんどできなかった）

目標（ビジョン）	手だて・手段	1学期	2学期	3学期
1時間のこだわり （個別最適な学びの充実）	自力解決の時間に自分の考えをノートに記す。			
	小集団で意見を交流し、多様な考えに触れる。			
学習規律の徹底	机上、引出し、ロッカー等の学習環境の整理整頓を徹底する。			
	自分の考えを、手を挙げて進んで発表する。			
家庭学習の充実	1日1ページ以上自主学習に取り組む。			
	毎日、前日の学習時間・学習内容を振り返る。			
言語活動の充実	朝の会で、ペアでのスモールトークを取り入れる。			
読書活動の推進	すきま読書の推奨。			
	児童自身が気になるテーマに関する本を読むよう声掛けを行う。			
外国語教育の充実 （目的意識を明確にした言語活動の充実）	朝の会、帰りの会の進行を英語にする。			
	外国語科の各ユニットで、スライドを用いた発表やプレゼンテーションを行う。			
運動への親しみ	昼休みや休日は外で体を動かすよう呼びかける。			
インクルーシブ教育の構築	特別支援学級の先生方と連携をとり、個性を尊重できる環境を作る。			
	全員が話し合い活動に参加し、互いの意見を交流する。			
地域・家庭との連携	毎週、学級通信で子どもたちの頑張りを伝える。			
基本的生活習慣の徹底	余裕をもって登校し、朝ボランティア等の朝の活動に参加できるようにする。			
支持的風土の醸成	友達の良さを見つけ、みんなの前で紹介する場を設ける。			
確かな児童理解	月1回のアンケートや連絡シートをもとに、児童の心の様子を把握し、対応する。			

えがお学級の具体的手だて・手段（学級の実態により必要なビジョンのみ立てる）

（4…かなりできた 3…おおむねできた 2…少しできなかった 1…ほとんどできなかった）

目標（ビジョン）	手だて・手段	1学期	2学期	3学期
1時間のこだわり （個別最適な学びの充実）	1時間の学習内容について課題を提示し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。			
学習規律の徹底	始めと終わりのあいさつをきちんと行う。			
	正しい姿勢で話を聞いたり、読み書きをしたりできるようにする。			
家庭学習の充実	漢字、音読、算数（キュービナ）など毎日取り組むよう習慣づける。			
言語活動の充実	学校生活の中で、会話のキャッチボールを増やし、コミュニケーション力を高める。			
	休み時間などの遊びの中で友達との関わりを増やしていく。			
読書活動の推進	図書室の本を積極的に借りて読むようにする。 内容に触れ、感想や考えを言えるようにする。			
外国語教育の充実 （目的意識を明確にした言語活動の充実）	支援学級のハローイングリッシュを通して楽しく外国語に親しむ。			
	交流学級での朝の会や帰りの会で、毎日英語を使う。			
運動への親しみ	朝や昼休みは外に出て積極的に体を動かす。			
	自立活動の時間を使って、体を動かす運動を取り入れる。			
インクルーシブ教育の構築	交流学級での友達との関わりが進んでもてるように支援する。交流学級の児童にも理解が得られるような声掛けを行う。			
地域・家庭との連携	学校での様子を毎日連絡帳で知らせ共通理解を図る。成長や課題を伝えることにより、連携しながら支援ができるようにする。			
基本的生活習慣の徹底	自分から進んであいさつができるようにし、進んでコミュニケーションが取れるようにする。			
支持的風土の醸成	人の話を聞いて反応できるようにする。			
確かな児童理解	毎日の会話や様子から心身の状況を把握し、交流担任や支援学級担任との連携を図る。			

きらきら学級の具体的手だて・手段（学級の実態により必要なビジョンのみ立てる）

（4…かなりできた 3…おおむねできた 2…少しできなかった 1…ほとんどできなかった）

目標（ビジョン）	手だて・手段	1学期	2学期	3学期
1時間のこだわり （個別最適な学びの充実）	目が疲れて、集中力が欠けないように、授業過程を細かく区切り、読む、話す、書く、体を動かすといった様々な活動を設定する。			
	児童の実態や理解度に応じたカリキュラムを作成し、訂正しながら取り組む。			
学習規律の徹底	はじめと終わりの時間を守り、授業はじめ・終わりの挨拶を確実に行う。			
家庭学習の充実	漢字・算数プリントのセットを必ず行うように習慣づける。			
	音読、時計の見取り、かけ算九九カードは、本人に選択させ、自主的な学びの態度を育てる。			
言語活動の充実	本人の興味関心に合わせた本を準備し、学級図書を充実させる。			
読書活動の推進	同上			
外国語教育の充実 （目的意識を明確にした言語活動の充実）	特別支援学級で行う英語活動に参加し、基本的な事柄を繰り返しのよって覚えられるようにする（R4と同様）。			
	ほんものであることを意識した活動の場を設定する。 （必然性、相手意識、コミュニケーションの楽しさや意義）			
運動への親しみ	目や頭部のけがに気を付けながら、運動に取り組ませる（R4と同様）。			
インクルーシブ教育の構築	交流学級の中で進んで活動できるように、教科や内容を精選する。交流学級の児童にも働きかける。			
地域・家庭との連携	毎日、連絡ノートで、お互いの情報を交換し、児童のきめ細かい理解につなげる（R4と同様）。			
基本的生活習慣の徹底	進んでさわやかな挨拶ができるように働きかける（R4と同様）。			
支持的風土の醸成				
確かな児童理解	交流学級担任や特別支援学級との連携を図る（R4と同様）。			

げんき学級の具体的手だて・手段（学級の実態により必要なビジョンのみ立てる）

（4…かなりできた 3…おおむねできた 2…少しできなかった 1…ほとんどできなかった）

目標（ビジョン）	手だて・手段	1学期	2学期	3学期
1時間のこだわり （個別最適な学びの充実）	学習することを明示したり、タイマーを活用したりして見通しを持たせる。			
学習規律の徹底	始めと終わりのあいさつをする。			
家庭学習の充実	言葉のワークプリントに取り組ませる。			
言語活動の充実				
読書活動の推進	読み聞かせを日常的に行う。			
外国語教育の充実 （目的意識を明確にした言語活動の充実）	ALTと一緒に学習する時間を設けたり、英語を使って朝の会を行ったりして、外国語に親しませる。			
運動への親しみ				
インクルーシブ教育の構築	自立活動では、個人差に応じた活動や、人のためになる活動を取り入れる。			
地域・家庭との連携	学校での児童の様子を連絡帳等で知らせ、共通理解を図る。			
基本的生活習慣の徹底	「挨拶・返事・ありがとう」を繰り返し指導し、周囲の人とうまく関われるようにする。			
支持的風土の醸成				
確かな児童理解	会話や観察を行い、体調や気持ちを理解し、交流学級や特別支援学級担任との連携を図る			

だいすき学級の具体的手だて・手段（学級の実態により必要なビジョンのみ立てる）

（4…かなりできた 3…おおむねできた 2…少しできなかった 1…ほとんどできなかった）

目標（ビジョン）	手だて・手段	1学期	2学期	3学期
1時間のこだわり （個別最適な学びの充実）	学習活動とタイマーを提示し、見通しを持って活動に取り組むようにする。			
学習規律の徹底	始めと終わりの挨拶をする。			
家庭学習の充実	個人に応じた内容の課題を出し、毎日取り組むように習慣づける。			
言語活動の充実	国語の時間に絵本の読み聞かせを行う。			
読書活動の推進	司書の先生に読み聞かせの選書をしていただいて、いろいろな内容の本に触れさせる。			
外国語教育の充実 （目的意識を明確にした言語活動の充実）	特別支援学級で「Hello English」を行い、ALTと関わりながら、外国語の楽しさを味わわせる。			
運動への親しみ	自立活動の時間を使い、支援学級合同で楽しく運動ができるようにする。			
インクルーシブ教育の構築	だいすき学級や交流学級の友達と、学習や休み時間を過ごせるように支援する。			
地域・家庭との連携	連絡帳を使って、学校や家庭での様子を知らせ、成長や課題の共通理解を図る。			
基本的生活習慣の徹底	「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言えるようにする。			
支持的風土の醸成				
確かな児童理解	会話や観察を行い、交流学級担任や特別支援学級担任との連携を図る。			